

## VA 日常管理について

### VA の日常管理

「見る」、「聴く」、「触る」を習慣づけることでシャントの状態をチェックすることが重要です。



#### 「見る」

##### ① シャント肢が腫れたり、血管が怒張していないか

中枢の血管が細くなったり、閉塞していると、血流が滞留してしまうため、シャント肢が腫れてしまいます。また、血管が怒張してきている場合も中枢が細くなっている可能性があります。

##### ② シャントが赤くなっていないか

シャントが赤く炎症を起こしていたら感染している可能性があります。一日おきにシャントに針を刺すため細菌が体内に入りやすい環境になっています。シャントは常に清潔な状態を保つことが重要です。



## 「聴く」

聴診器を使いシャント音を聴くことで、シャントの状態をチェックすることができます。

### ①正常なシャント音

正常なシャント音は「ゴーゴー」と連続した低い音がします

### ②異常なシャント音(血流が低下している)

異常なシャント音が「ザツザツ」と断続していたり、音が聴こえにくくなったりします。また、血管が細い部分は「ヒューヒュー」と高い音がします。



## 「触る」

シャントを触ることで血流がしっかり流れているか、細い部分はないかチェックします。

### ①正常なシャント

シャントを触って「ザーザー」と連続した振動があれば血流が十分にある状態です。

## ②血管が張っている場合

シャントの中樞が細くなっており、血管内圧が上昇している状態です。

## ③血管に張りがない場合

シャントの吻合部(動脈と静脈をつないでいる部分)か、吻合部近くが細くなることで中樞まで血流が流れなくなっている状態です。

V Aの日常管理「見る」、「聴く」、「触る」でいつもと違うと思った場合はスタッフに相談してください。

## シャント閉塞の予防



①シャント肢を圧迫することで、血流が遮断されてシャント閉塞する可能性があります。

具体例)

シャント肢側に重い荷物をぶら下げる、シャント肢での血圧測定、手枕をしたり睡眠中シャント肢を体の下にして圧迫する、透析終了後止血バンドでシャントを長時間圧迫する。

②シャントを正常に保つためには血圧を下げないことも大切です。

体重増加が多いと除水量も多くなってしまいます。過度な除水は血圧低下を引き起こす可能性があり、シャントの血流も低下してしまいシャント閉塞してしまう恐れがあります。

### シャント感染の予防



- ① 透析治療の前には、流水と石鹸でシャント肢を洗いましょう。特に夏は汗ばむ季節でシャント感染しやすい時期になります。きれいに見えるシャントでも、多くの菌がついています。穿刺の前に消毒をしますが、その前の手洗いで菌の数を減らすことが大切です。
- ② 局所麻酔テープ（リドカインテープ・ユーパッチ）を使用される方はテープを貼る前にご自宅でシャント肢を十分洗ってください。
- ③ 針穴に貼ったカットバンは翌日に剥がしてください。ずっと貼ったままだとかぶれ易くなります。
- ④ 透析後の入浴は避け、翌日にしましょう。